

第三回ハイキング講習会～私はやはり晴れ男～

【報告者】Y口

【日時】2017年11月11日～12日 【天候】晴れ

【参加者】K田（CL）、A屋、K崎、A・I、I谷、Y口

《コースタイム》

一日目→5：30 基山PA～8：30 九連子登山口～11：40 岩宇土山～13：10 上福根山
～北山犬切～17：00 水上越

二日目→5：30 起床～7：30 水上越～8：35 七遍巡り～9：40 石楠越～10：40 鷹巣山
～11：40 蕨野山～12：15 積岩山～14：50 九連子登山口

《 報 告 》

【一日目】

「は？セキリョウ？」今回の講習会に誘っていただいて最初に出てきた感想です。山の名前も登山口の名前も初めて聞くものだらけ。五家荘の近くと聞いてようやく土地勘が掴めた山口でした。前回のハイキング講習会では自前のツェルトを使用しましたが、シュラフは用意できず、T田さんから拝借しました。今回はシュラフも自前のを持参。定番というべきか、モンベルの3番を揃えました。これで山泊一式はほぼ勢揃い。冬山以外ならどこの山でも泊まれます！

しかし……装備は揃えど、知識技術経験の乏しさが露呈する事態に。登山開始早々、額から汗が止まらない。その原因は私の代謝が高いから…ではなく、ザックの中にある。小休止時の補給用含め、水分を40持参しておりました。荒屋さんから多すぎるとご指摘を受け、プラティパスの水30を途中で放棄。このY口、汗をかきやすいので水分は多めに持参することを念頭に置いているのですが、それが仇となった格好。山行ではどのくらいの水分を持参すべきか、未だ適切量が掴めていません。他にも、行動中はウェアを脱いで体温調節を図るなど、登山の基本がまだ身についていないY口。これから山行に参加する機会を増やし、経験を重ねるしかないなあと自己叱責。

とはいえ、これでザックが一気に軽くなり、翼を授かったかのような気分で登山再開。九連子登山口から岩宇土山へ続く登山道は最初からかなり急峻で、道なき斜面を登るような場面がいくつもありました。序盤はストックを使って登りましたが、途中からは使わずに登った方が安全なコースでした。



岩宇土山へ向かう途中には洞窟が。修行のため？

岩宇土山を過ぎてからは比較的なだらかな道が続き、テント泊予定の水上越まではそこそこ速いペースだったと思います。大きく遅延することなく、水上越付近に差し掛かったところで水場を探しに行きましたが……あれ？水場がない！当初予定していた水場は干上がってました。ガッデム。川の方角を目指して、メンバー全員くまなく水場探し。日も落ちかかっていたので、ちょっと不安にはなりましたが、約 100m 離れたところで水場を発見。傍に平地もあり、テントも張れそう。なんとかいいテント場を見つけることができました。

真っ暗になる前に各人がテントやツェルト、タープを設営。私は言わずもがな、ファイントラックのツェルト 1 です。居住性を重視するあまり、今回も時間をかけすぎてしまった。約 20 分。居住性重視なら本来はテントを使うべきでしょうけれど、私はやっぱりこのツェルトをとことん使いこなしたい！ようやく設営し終えた時、そんな思いを再認識しました。ただ、もっと素早く設営できるようにならなきゃいけないですね。その頃、他の皆さんは既に夕食の準備中。I 谷さんは火を起こして鴨肉を焼いたり、A 屋さんはモッツァレラチーズ入りの大盛パスタを作ったり。段々冷え込む中でも、なんだか暖かい気分でいられました。



火を崇めるゾロアスター教徒ダニーロとアラえもん（A屋さん）特製パスタ
【二日目】



ここがツエルトを張った場所です

5時半ごろに起床。足先は少々冷えたものの、快適に眠ることができました。ただ、ツェルトから出るとやっぱり寒い……落ち葉には霜がついていました。恐らく5℃を下回っていたのでしょうか。この寒さの中、テントやツェルトを使わず、タープの下で夜を過ごしたA屋さんとK田さんはツワモノすぎる。早速お湯を沸かし、温かい朝食で腹ごしらえ。計画書よりも30分遅れてスタートしました。



天気も良く、きもちのいい尾根ルート

水上越から積岩山へ向かうルートはひたすら尾根を歩く道で、視界も良好。前日のような険しい坂道はほとんどなくなだらかな道ばかりで、全体的に早いペースで進んでいきました。途中で登山客数人とも擦れ違い、やはり岩宇土山エリアよりもこちらの方が人気みたいです。積岩山に着いた頃には30分近くあった遅れが解消され、計画書通りの時間に戻すことができました。この積岩山から九連子登山口へ戻るルートは二つあったのですが、東寄りのルートはかなり険しいと予想されたため、西寄りのやや遠回りのルートを選択。決して降りにくい道ではありませんでしたが、登山用の赤テープと林業用の赤テープが混在していて、地図を常に確認しないと迷いそうなルートでした。私一人だったら確実に遭難していたに違いない……。伐採用の林をくぐり抜け、15時前に九連子登山口に戻ることができました。

【振り返って】

これまで坊がつる以外の山でテント泊をしたことがなく、今回はまさに未開の地へ行くような気分でしたが、ひとまずは無事に戻ることができたのが何より。7月のハイキング講習会でツェルトの設営をとことん頭に叩き込んだ甲斐があったのでしょうか。まあ時間はかかりましたが。来年の春あたりに、今度は単独で坊がつるでツェルト泊

をしたいと考えているので、今回のハイキング講習会で経験を積めてよかったです。
K 田さんはじめ、メンバーの皆さまにサポートしていただいてとても助かりました。
ありがとうございました！

《概念図あるいはルート図》

※ある場合はここに図を挿入してください

